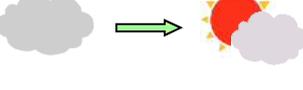
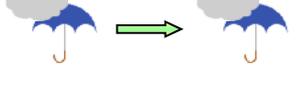
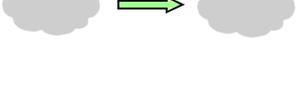
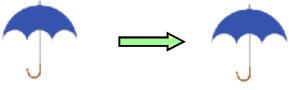
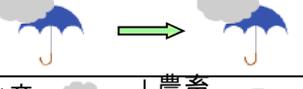
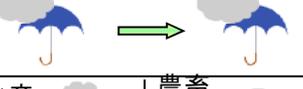
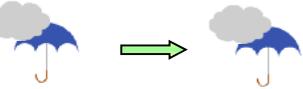


【産業動向概要】

産業全体 	<p>13年8月を中心とした県内経済は、輸出に回復の兆しがみえるほか、企業の生産活動にも持ち直しの動きがみられる。雇用・所得環境は依然厳しいものの改善傾向にあり、個人消費は新設住宅着工などで回復傾向がみられる。このように県内経済には、持ち直しの動きがみられる。</p>		
観光・旅館業 			<p>伊豆地域の夏休み期間の宿泊客数は、熱海、伊東、下田などを中心に概ね前年を上回るなど好調に推移。天候に恵まれたこと、景気回復感の高まり、円安による海外から国内旅行へのシフトなどの要因が指摘されている。</p>
紙類 			<p>家庭紙、段ボールの原料古紙価格はともに上昇。原料コストが増加した県内トイレ紙メーカーは製品価格の引き上げに動いている。段ボール原紙は最終需要が盛り上がりを欠き、今後の価格動向は不透明。</p>
	家庭紙 	板紙 	
水産業 			<p>主要漁港全体の水揚量は前年比▲8.7%減。うち焼津港の水揚量は、サバ類は増加したが、主要魚種であるカツオ類やマグロ類の減少が影響し、全体では前年比▲13.1%減。沼津港、清水港の水揚量は前年増。魚種単価はマグロ類、カツオ類が上昇した。主要漁港3港の総水揚高は、焼津港の水揚量の減少が響き前年比▲10.8%減。</p>
一般機械（主） 			<p>金属工作機械は内需向けが好調で前年比7%増の4,429百万円。9ヵ月ぶりにプラスに転じ、企業の設備投資意欲に回復の兆しが見える。金型は数量では5ヵ月連続でプラスだが生産額では2四半期ぶりのマイナスとなり一進一退が続いている。</p>
	金属工作機械 	金型 	
木材 			<p>県内の新設住宅着工は昨年9月以降11ヵ月連続してプラス。景況感の回復や住宅ローン減税の4年間延長などにより、今後も新規住宅着工戸数の増勢が見込まれる。木材需要は輸入材との価格差から市況の回復は難しい。</p>
缶詰 			<p>県内のマグロ類缶詰の生産量は前四半期比微減、コーン缶を含む農畜産缶は前四半期に続き増加と堅調。飲料缶類は酷暑の影響で7、8月の生産量が大幅に増加している。なお、2012年の国内缶詰生産量は前年比4.0%の増加となった。</p>
	水産缶詰 	農畜産缶 	
	飲料缶類 		
楽器 			<p>主力のピアノは、生産台数、販売台数ともに前年実績を下回った。電気・電子ピアノは減産体制が続く。電子オルガンは、前期から内需・輸出ともに販売回復傾向が続く。電子キーボードは、生産は堅調に推移する一方で、販売はやや低調となった。</p>
	ピアノ 	電子楽器類 	

輸 送 用 機 器 			遠州地域の二輪車生産台数は、欧州などの輸出向けが伸びたことで7月以降、2ヵ月連続で前年を上回った。自動車部品の生産金額（県内）は、エコカー補助金の終了の影響を受けて11ヵ月連続のマイナスと低調。
	二輪車 	自動車 部品 	

				
明 る い	やや明るい	停 滞	やや不振	不 振

《産業別天気マークの推移》

 明るい
  やや明るい
  停滞
  やや不振
  不振

調査対象時期 (公表時期)	11/8 (11/10)	11/11 (12/1)	12/2 (12/4)	12/5 (12/7)	12/8 (12/10)	12/11 (13/1)	13/2 (13/4)	13/5 (13/7)	13/8 (13/10)
概況 		→							→
観光・旅館業 		→		→					
紙類 		→					→		
水産 			→						
一般機械(主要) 		→				→			
木材 		→							
缶詰 		→				→			
楽器 		→		→		→		→	→
輸送用機器 		→							